

「三重県 心のノート」活用事例

校種	小学校	学年	5年	内容項目	4－(7)
主題名	郷土の偉人の生き方から学ぶ				
資料名	医学の発展のために 科学の発展のために 野呂元丈 「三重県 心のノート 小学校5・6年」(三重県教育委員会)				
ねらい	郷土の偉人の功績や生き方を学ぶことで、郷土に誇りを持って愛する心を育む。				
展 開	学習活動と主な発問			指導上の要点	
	1 野呂元丈が波多瀬地区出身であることを知る。 (発問)「波多瀬に薬草薬樹公園があることを知っていますか。」			・波多瀬の薬草薬樹公園と野呂元丈の関係を知らせる。	
	2 野呂元丈の功績と生き方を地域の人から学ぶ。 (発問)「今から、野呂元丈はどういう人かを教えてもらい、野呂元丈のしたことが日本にどのような影響を与えたか考えてみましょう。」			・地域の語り部さんに野呂元丈について教えてもらう。	
	3 野呂元丈の功績を考える。 (発問)「野呂元丈は何をした人かまとめよう。」			・ワークシートにまとめる。 ・「三重県 心のノート」も参考にして、今日のお話で聞いたことを振り返りながらまとめる。	
	4 野呂元丈の功績を話し合う。 (発問)「野呂元丈は、日本にとってどんなに大切なことをした人でしょうか。」			・薬草を基本とした本草学を学び日本の医学の発展させたことや西洋学を学び日本の蘭学にも貢献したことを理解させる。	
	5 野呂元丈や西村彦左衛門など、日本や地域に貢献した人を知る。			・波多瀬にそのような有名な人がいたことに誇りを持たせる。	
他の教育活動との関連	田植えや稲刈りなどの稲作体験を通じた農業についての学習でも、地域の立梅用水建立に貢献した西村彦左衛門についても学習				

<児童の感想>

- ・野呂元丈さんが予想以上にすごい人だったことを知って驚きました。日本初のこともしていたことが分かって、元丈さんと同じ地域に生まれたことをほこりに思えました。
- ・薬草のことにについてすごく詳しく調べて、日本で初めて狂犬病の治りょう法の本を出したところがすごいと思った。
- ・仲間と一緒に全国をまわって、薬草を探しに全国を旅していたなんてびっくりしました。
- ・徳川吉宗将軍のお目見え医師になるなんてすごいと思いました。
- ・江戸時代、当時オランダ語を理解する役人さんがいなかったから、徳川吉宗将軍からオランダ語の習得を命じられるなんて、立派な人だったんだなと思いました。
- ・わたしは元丈さんと同じ波多瀬出身で、元丈さんみたいな日本に名を残す人がいて、



とてもうれしいです。だから、わたしも大人になったら、元丈さんのことを子どもたち教えてあげたいです。

・本草学などをたくさん勉強し、日本の人々のためにつくした野呂元丈さんをすごいと思いました。わたしもじゅう医をめざしているから、

元丈さんのように、たくさんのことを学んだり研究したりして、動物や人の役に立ちたいなあと思いました。

- ・蘭学を勉強した人が波多瀬にいてすごいなと思った。
- ・薬草を研究しに全国をまわったなんてすごいと思う。
- ・日本で初めて狂犬病の治りょうを発見したことが特にすごいと思った。
- ・元丈さんはいろんなことを学んで医者になってすごいと思いました。
- ・元丈さんはすばらしい功績を残したと思った。
- ・勢和に、こんな古い時代のすごい人がいたことをすごいと思った。日本で活やくしたと初めて知った。
- ・野呂元丈は勢和で有名だと思っていたけど、日本でも有名なんて知りませんでした。
- ・自分がある勢和に偉い人がいてほこりに思います。元丈さんがそんなにすごい人だとは知りませんでした。日本のために活やくしたのに、教科書にのっていないのが残念です。

- ・小さい勢和という地域にこんなすごい人がいておどろきました。
- ・今の医学にもつながることをした元丈さんと同じ勢和にいて改めてすごいと思いました。
- ・自分の住んでいる町に有名だった人が住んでいたなんてすごいし、うれしい。

<成果と課題>

元丈の里には、語り部をしていただいているボランティアの方がおり、その方に学校にきていただいて元丈さんの生い立ちや功績について語ってもらった後、各担任によって授業を行った。

成果については、子どもたちの感想から分かるように、自分たちが住む地域にこのような偉人がいたことを誇りに思うとともに、自分たちが住む地域そのものを誇りに感じる子どもたちがたくさん出てきた点があげられる。

課題については、この取組が単発で行われるため、上記の意識を継続的にもつには至っていない点がある。この点については、現在勢和地域において取組を進めている「コミュニティ・スクール」の取組の一環として行うことで解決していきたいと考えている。